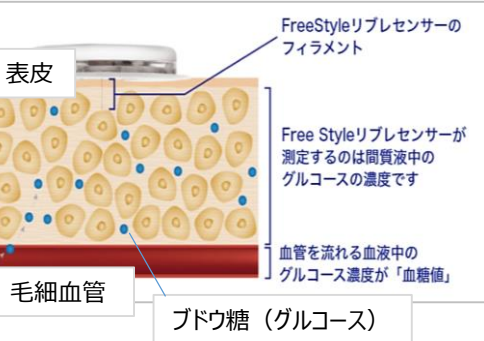


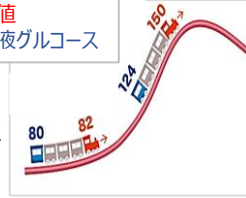


初秋を迎え、朝夕だいぶ過ごしやすくなりました。
糖尿病患者向けグルコースモニタリングシステム「FreeStyleリブレ」についてお伝えします。



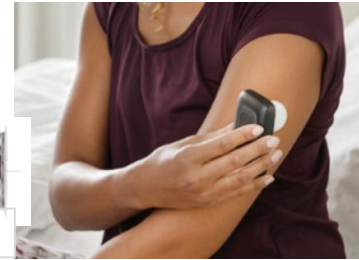
FreeStyleリブレの特徴

赤：血糖値
青：間質液グルコース



従来の血糖測定と違い、FreeStyleリブレは間質液のグルコース濃度を測定します。グルコースは血管内から間質液中へ移動するため、血糖値とは5～10分タイムラグが生じる可能性があります。

専用のセンサーを腕など皮下脂肪が多いところに装着します。
毎日、指先を穿刺する従来の血糖測定器とは違い、センサーにReaderをかざすことで、服の上からでも測定可能です。
センサーには、過去8時間分のグルコース値の記録が保存されます。そのため、8時間に1回は、Readerをかざす必要があります。
装着したセンサーは、14日ごとに交換します。

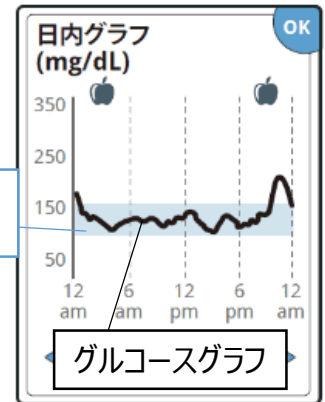


Readerをかざすことで現在のグルコース血糖値がわかります。あわせてグルコーストレンド矢印で、グルコース値が推移する方向を予測できます。

- ▲ 急激に上昇
- ➡ ゆっくりと変化
- ◆ 上昇
- ▼ 低下
- ⬇ 急激に低下

さらにトレンドグラフで1日の変動を確認でき、以下のことがわかります。

1. 動脈硬化の進行を早める食後高血糖（血糖値スパイク）の有無が確認できる
2. 夜間低血糖や暁現象の有無が確認できる
3. HbA1cの値だけではわからない「血糖コントロールの質」を把握できる



ただし、下記のような場合は血糖自己測定（SMBG）が推奨されます。

- グルコース値が急速に変化している場合
 - センサーにより得られた低血糖/高血糖、または低血糖/高血糖が起こる可能性があります、再検を必要とする時
 - 測定結果と一致しない症状がある、または測定値の正確性に疑問がある時
- ※トレンドグラフを確認し、血糖値・症状に合わせて対応しましょう。

FreeStyleリブレの保険適応

2017年9月より日本で保険適応されました。現在は、インスリン療法、GLP-1受容体作動薬の自己注射を行っている患者が保険適応となります。（回数は治療内容により異なります）

